

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

事業名 次世代リーダー養成推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部私学振興・青少年課青少年係 電話番号：058-272-1111 (内 2428)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,509 千円 (前年度予算額：3,961 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,961	0	0	0	0	0	280	0	3,681
要求額	8,509	0	0	0	0	0	280	0	8,229
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、急速に国際化・情報化が進む中において、世界的な視野を持ち、考え、行動できる次世代のリーダーを育成するため、全国的な養成塾へ県内高校生を派遣するとともに、県内中学生対象の塾を開催する。

(2) 事業内容

○「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業

世界的視野で活動できる次世代リーダーの育成を目的とする「日本の次世代リーダー養成塾」に、県内の高校生 10 名を派遣する。

日程：7月下旬～8月上旬の2週間

場所：福岡県、佐賀県

塾生：全国の高校生約 170 名

内容：専門講義 (歴史、政治・経済、哲学他)、ディスカッション等

○「ぎふ立志リーダー養成塾」開催事業

・仲間とともに共同作業を通じて、次世代のリーダーが持ち合わせるべき資質を身につけるきっかけとする、中学生対象のリーダー養成塾をオンラインで開催する。

日程：8月上旬の4日間

場所：オンライン (予定)

塾生：生徒会役員等を担う県内の中学2年生及び3年生24名

内容：講義、グループワーク等

- ・将来のリーダーになることはもとより、地域の課題に対して生徒会等の各団体の活動につながるプログラムを実施することより、リーダー育成を行うとともに、教育現場や社会教育の場を活用し、全県への展開を図るために、学校教育・社会教育との連携を行う。

内容：プログラム簡易版の普及、教員対象説明会等

(3) 県負担の考え方

国際的な視野を持ち、考え、行動できるリーダーを養成することで、未来の岐阜県及び日本の活性化を目指す取り組みであり、県として必要な負担である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業	1,370	派遣塾生選考委員謝金・費用弁償、塾負担金(1,000千円)等
「ぎふ立志リーダー養成塾」開催事業	7,139	講師謝金、オンライン機器借上げ料、プログラム委託料等
合計	8,509	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県青少年健全育成計画

○第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標3 国際理解教育の充実とグローバルに活躍する人材の育成

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
青少年に対し、ビジョンメイキングやネットワーク形成力などリーダーに必要な資質を学ぶ場を提供することで、次世代を牽引するリーダーを養成する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

個人の資質、能力を高めることが目標であり、数値目標の設定になじまないため。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - 日本の次世代リーダー養成塾（すべてオンラインで実施）
 - ・講義：令和2年8月8日（土）～8月12日（水）、23日（日）、30日（日）、9月6日（日）、13日（日）
 - ・発表会：令和2年9月19日（土）～22日（火）
 - ・参加者：高校生174名（うち岐阜県推薦枠6名）
 - ぎふ立志リーダー養成塾
 - ・日程：令和2年8月5日（水）～8月8日（土）
 - ・場所：トヨタ白川郷自然学校（大野郡白川村）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 - ・両塾とも参加者及び保護者の開催後のアンケート結果は、「広い視野を身に付けることができた。」「リーダーに必要な資質を学ぶことができた。」「他者と認め合うことの必要性を感じて帰ってきた」など好評であり、次世代のリーダーとして前進する契機となった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	グローバル化が急速に進む中、次世代の青少年リーダーを養成することは、未来の岐阜県及び日本にとって必要性が高いものである。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	卒塾生は、塾開催直後はもちろん、年数を経てからのアンケートでも「参加が役立った」という回答があり、世界を舞台に活躍している者も多く、きっかけづくりの事業として有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>「日本の次世代リーダー養成塾」については、負担金を負担して参画県になることにより、県単独では招聘できない世界的に活躍する講師陣等に触れる機会を県内高校生に優先的に提供することが可能となっている。</p> <p>「ぎふ立志リーダー養成塾」については、研修施設等を併せ持つ宿泊施設を利用すること、夏休み中の4日間に集中的に実施することで効率化を図った。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの学校から参加していただけるよう、一層周知に努める必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 卒塾生及びその保護者から好評のうえ卒塾生の事業終了後の活躍など、事業の必要性や有効性は高いことから、今後も継続して実施するとともに、実施後のアンケート結果等を踏まえ、プログラム内容や実施方法の更なる向上を目指す。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	